

第 3 回地域医療構想調整会議における各地域の意見

地域	結論	意見（確認結果）
横浜	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局案「2017 年人口・平成 28 年度病床機能報告の病床利用率」を使って算出した基準病床数としたい。 ・毎年見直しとしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし
川崎北部	<ul style="list-style-type: none"> ・「2017 年人口・平成 28 年度病床機能報告の病床利用率」を使って算出した基準病床数としたい。 ・毎年見直しとしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現場感覚としては、現状の病床数に過不足感はなく、尚早な病床整備により医療現場が混乱すると、ひいては市民への医療サービスの提供にも影響を及ぼしかねない ・医療の進歩や病床利用率の向上、平均在院日数の短縮など、今後の状況により医療の需給状況は変動するので、直近の人口や地域の医療提供の状況を踏まえながら、毎年見直しを行うのが妥当。
川崎南部	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局原案「2020 年人口・国告示の病床利用率」で特例活用したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし
相模原	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局原案「2020 年人口・国告示の病床利用率」で特例活用したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の意見を尊重していただいた
横須賀・三浦	<ul style="list-style-type: none"> ・使用する病床利用率について、国告示と平成 28 年度病床機能報告の病床利用率のいずれを選ぶか諮った。 ・「2017 年人口・平成 28 年度病床機能報告の病床利用率」を使って算出した基準病床数としたい。 ・毎年見直しとしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・休床中（約 350 床）の病床もその殆どが 6 年後までには再開するという意向が示されており、同時に病床利用率を上げることにより、現状の病床数で十分対応可能である。 ・医療従事者（特に看護師）不足の現状を踏まえ、増床しても運営に疑問が残り慎重な対応が必要。 ・逗子葉山地域では特に病院等の医療資源が不足する状況ではなく、市町単位ではなく二次医療圏単位で考えるべき。 ・高度急性期では患者が増傾向であ

		<p>り、将来限界に達する懸念があるため、毎年度地域の実情を踏まえ、基準病床の見直しを検討すべき。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療構想で示された必要病床数や回復期病床の不足も加味して検討すべき。 ・医療需要の増加が見込まれており、地域的な偏在もあることから、基準病床数を増としてほしい。
湘南東部	<ul style="list-style-type: none"> ・使用する病床利用率について、国告示と平成 28 年度病床機能報告の病床利用率のいずれを選ぶか諮った。 ・「2017 年人口・平成 28 年度病床機能報告の病床利用率」を使って算出した基準病床数としたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・建物があっても働く人がいなければ病院は成り立たない。病床機能報告の病床利用率を使ったほうが地域の実態に合っている。 ・医療機能の分化・連携の成果や、平均在院日数の短縮が進んでいることを鑑みても、そのうち病床に余裕が出てくる。3 年後の見直しもあるので病床機能報告の病床利用率を使ったほうがよい。 ・3 年後の見直しにあたっては、既存病床の実態の利用率をみてやっていくということになる。
湘南西部	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局原案「2020 年人口・国告示の病床利用率」で特例活用したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の意見を尊重していただいた
県央	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局原案「2020 年人口・国告示の病床利用率」で特例活用したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の意見を尊重していただいた
県西	<ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働省との内々調整を踏まえ、事務局提案「2017 年人口・国告示の病床利用率」を使って算出した基準病床数としたい（特例活用はしない）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・満足しているわけではないが、県としてできるだけのことをしていただいたことを評価する。 ・急性期医療は病床も人も不足していることは今後も十分理解してほしい。二次救急輪番は崩壊しかけている。